

# 嘔吐物の処理の仕方

寝屋川市保健所 保健予防課  
令和3年1月

# ノロウイルスの感染を広げないために

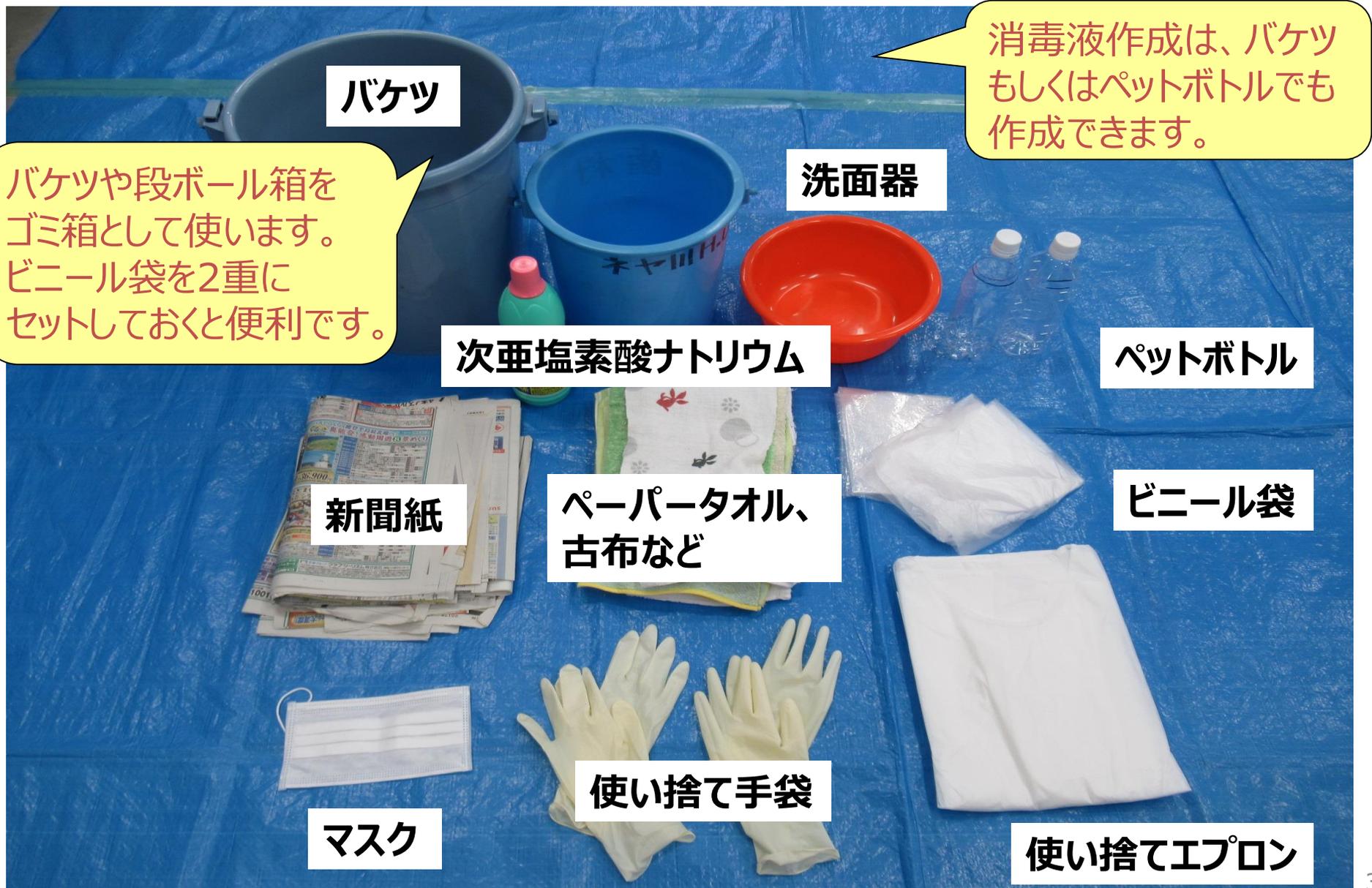
① 汚物はすぐに拭き取る・乾燥させない  
ノロウイルスは乾燥すると空気中にただよい、  
口に入り感染することがあります。

② きれいに拭き取ってから消毒する  
家庭用塩素系漂白剤を水で薄めた消毒液が有効です。  
アルコールはききません。

③ しっかり手洗いする  
手にノロウイルスが残っていると、手で触れるところにウイルスが  
付着します。

④ 手の触れる場所の消毒

# 排泄物・おう吐物の処理 (1) 日頃から準備しておくこと



**バケツ**

バケツや段ボール箱を  
ゴミ箱として使います。  
ビニール袋を2重に  
セットしておくとも便利です。

消毒液作成は、バケツ  
もしくはペットボトルでも  
作成できます。

**洗面器**

**次亜塩素酸ナトリウム**

**ペットボトル**

**新聞紙**

**ペーパータオル、  
古布など**

**ビニール袋**

**マスク**

**使い捨て手袋**

**使い捨てエプロン**

# 消毒薬の作り方



## 次亜塩素酸ナトリウム（ソーダ）

（家庭用塩素系漂白剤 \* 塩素濃度薬 5%）

- ・ ウイルスや細菌など様々な病原体に効果がある。
- ・ 消毒は原則として噴霧ではなく清拭で行う。
- ・ 家庭用酸素系漂白剤では効果がない。
- ・ 金属部分は腐蝕させるため、消毒の後に水拭きをするとうい。

使用濃度	原液濃度	方法	使用目的
0.1%	5%	500mlのペットボトルに1本の水に原液10ml	嘔吐物や便の処理時
0.05%	5%	500mlのペットボトル1本の水に原液5ml	調理器具、ドアノブ、床、便座、衣類など

※家庭用酸素系漂白剤は時間がたつと濃度が低下するため、早めに使いましょう。

## 排泄物・おう吐物の処理 (2) 処理するとき、まずはこれから

- ① 汚染場所に吐物処理をする人以外は近づかないようにします。
- ② 処理をする人は使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。
- ③ 吐物処理時、大きく窓を開けるなどして室内に新鮮な空気を入れて換気を行います。
- ④ 換気設備がある場合は運転してください。



手袋は2重



# 排泄物・おう吐物の処理 (3) おう吐物ってそんなに飛ぶの! ?

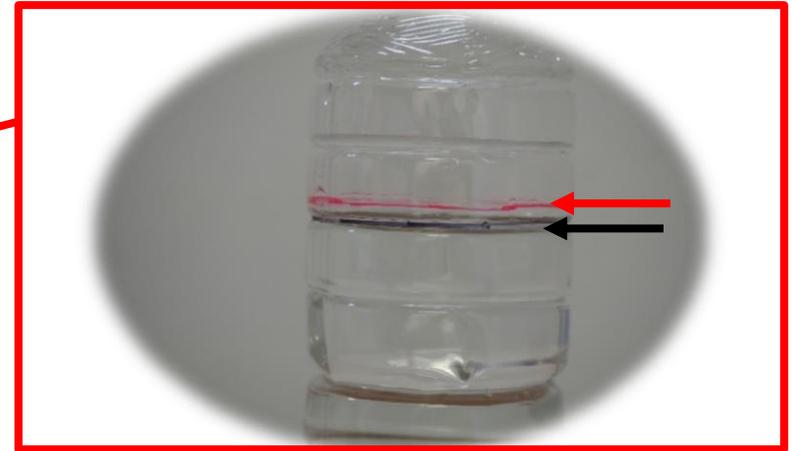
靴や壁、机の脚などにも  
吐物がついてないか  
確認が必要です。

1 mの高さから嘔吐した  
場合、かなり**広範囲に**  
**飛び散ります。**

**約 2 m**



# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？



**0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液作成**  
水500mlに黒い線、  
次亜塩素酸ナトリウム約10ml (キャップ2杯分)  
に赤い線をひいています。

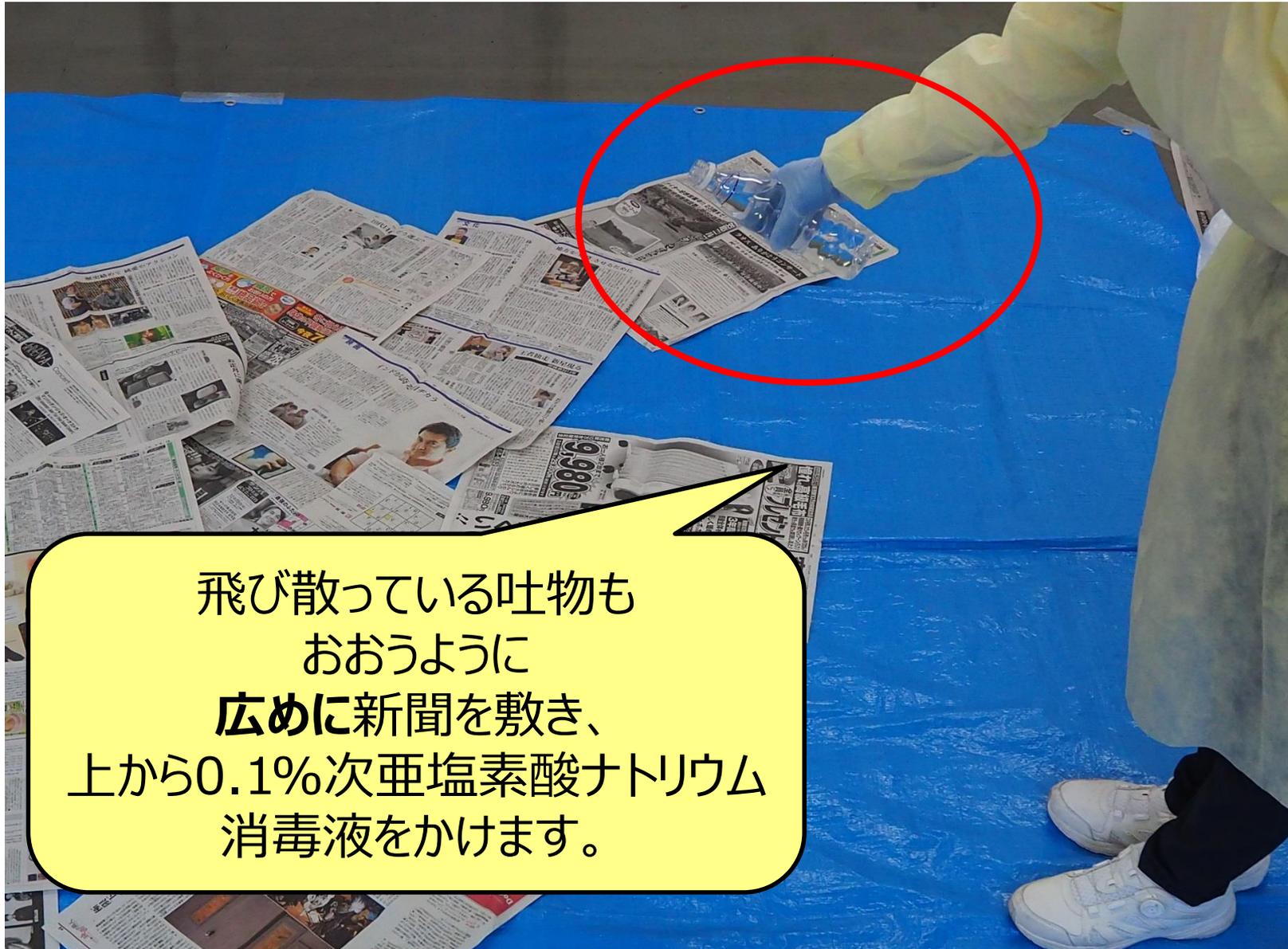


# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？



吐物を新聞で  
おおいます。

# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？



# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？

1



外から内に向かって集め、拭き取ります。

2



## 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？

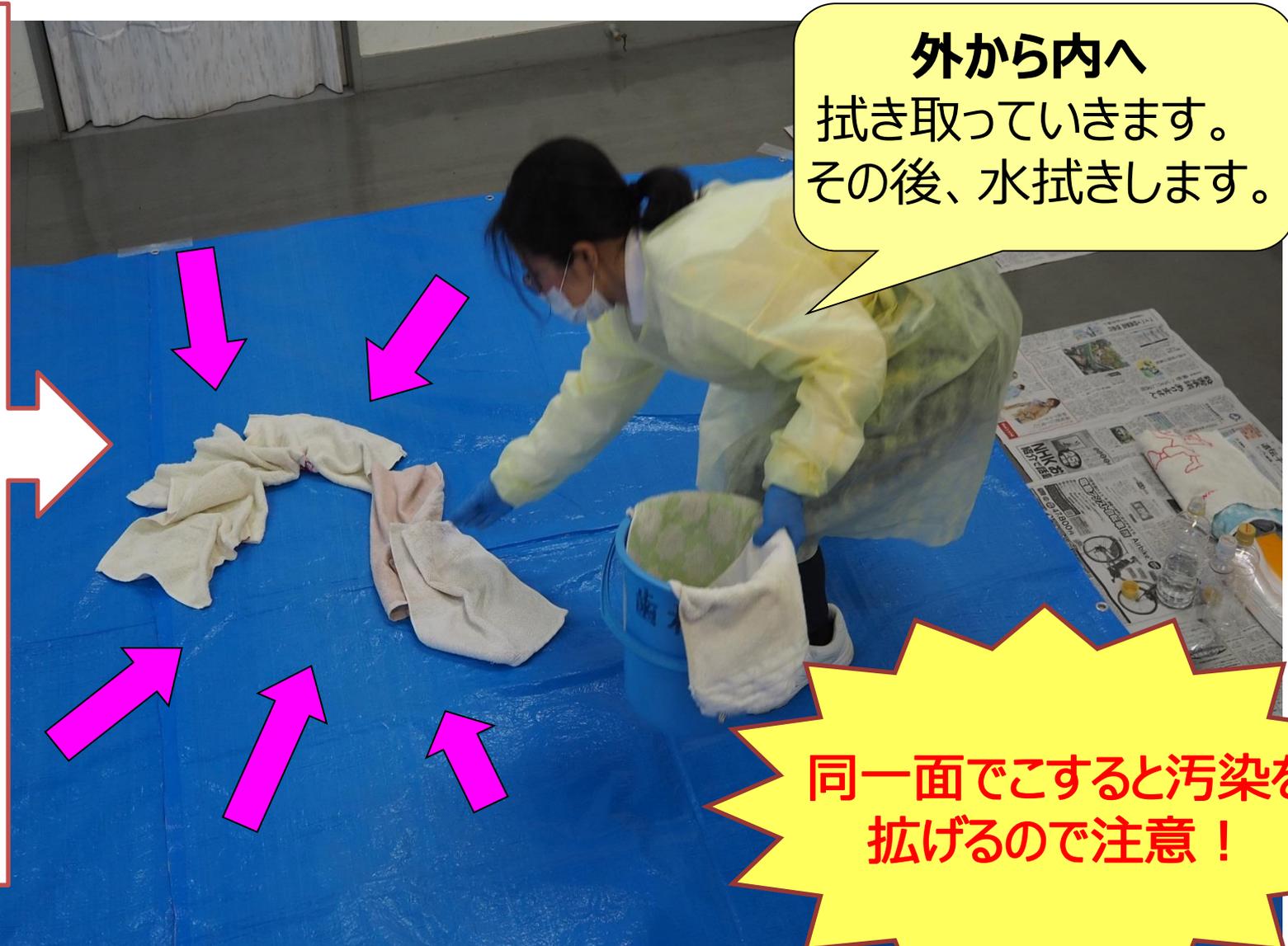
新聞で拭き取った後、  
0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液で浸すように  
床を拭きます。



靴が汚れているため、  
後方に下がるように拭きます。

# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？

10  
分  
後



同一面でごすると汚染を  
拡げるので注意！

# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？

ビニール袋を閉める前に0.1%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を染み込む程度に入れるとよい。ビニール袋はしっかり口を密閉して廃棄する。

最後に1枚目手袋・エプロンの汚れた部分を触らないように外し、袋の中へ。



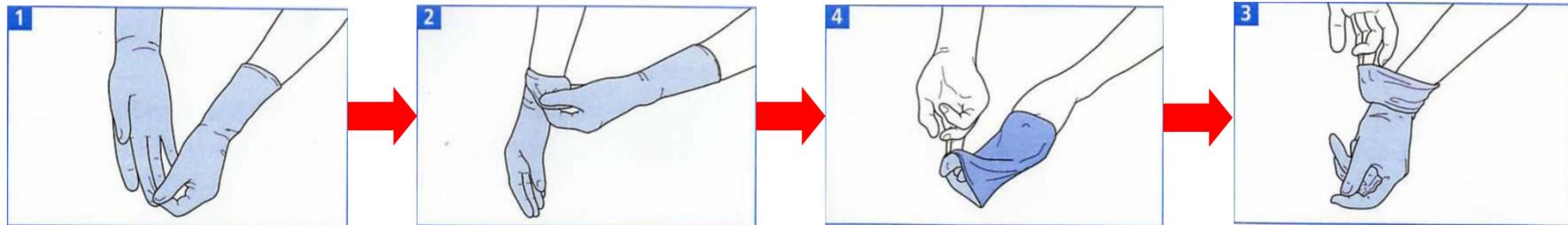
消毒薬で浸した古布やペーパータオルなどで靴底も拭き取りましょう。



# 排泄物・おう吐物の処理 (4) 消毒ってどうするの？

## 手袋・ガウン・マスクの外し方

- 手袋：裏返しながらはずす



- ガウン：汚れた面を中に折りこみながら脱ぐ
- マスク：ひもを持ってはずし、マスクの面は触れない

**汚染面を触らないようにしましょう**

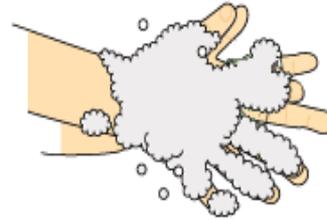
# 衛生的な手洗い



①手を流水でぬらし軽くこする



②手に石鹸をつける

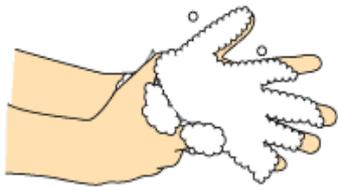


③両手をよくこすり合わせて泡立てる



④指の間や爪の先までよく洗う

※ 洗い残しのないよう、30秒以上かけて丁寧に洗う。



⑤両手首もきちんと洗う



⑥石鹸を洗い流す



⑦清潔なタオルで水分をふき取る



⑧衛生的な手洗いの完了！

※ 水道の蛇口は不潔になりやすいため注意する。

※ 共用、個人用タオルを使用するのではなく、なるべくペーパータオルを使用する。

# 排泄物・おう吐物の処理 (5) 消毒が終わってからも、ここに注意！

## 消毒後の注意点

- 1 : 消毒後、手袋を外してから、**すぐに手を洗う。**
- 2 : 吐物処理後は、**調理や配膳、食事介助などに従事しない。**
- 3 : 可能ならば、吐物処理後にシャワーを浴びるのが望ましい。  
(もしくは服を着替える。)
- 4 : 吐物処理後、**48時間**は**感染の有無に注意**する。
- 5 : 吐物処理時とその後は、窓を開けるなどして換気し、  
換気設備がある場合は運転する。

## 排泄物・おう吐物の処理 リネン類の消毒方法

- ① 使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用する。
- ② リネン類に付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように拭き取る。
- ③ 洗剤を入れた水の中で、静かにもみ洗いする。

さらに、

85℃・1分以上の熱湯洗濯

or

次亜塩素酸ナトリウム消毒液に10分程度つけこむ。  
その際も十分にすすぎ、高温の乾燥機などを使用すると  
消毒効果は高まる。



布団等すぐに洗濯できない物は、部分洗い後よく乾燥させ、  
スチームアイロンや布団乾燥機を使うと効果的。  
ドライヤーは乾燥したウイルスを拡散するので使用しない。

※ 使用した洗い場は次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒する。

# 施設内で感染性胃腸炎が発生した場合

## 1 消毒の徹底

ノロウイルスは感染力が強く、環境（ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など）からも検出されます。

- トイレのドアノブ、蛇口、トイレの床、トイレや浴室の手すりなどは**0.05%次亜塩素酸ナトリウム**で拭き、その後水拭きをする。（塩素系の漂白剤は金属腐食性があるので、水拭きを忘れないようにする。）
- おう吐物が付着した食器類は、下洗いをして**厨房に戻す前に0.05%次亜塩素酸ナトリウム**に十分浸し、消毒する。食器の下洗いやおう吐の後、うがいをした場所も消毒する。
- 普段から便座カバーは使わない。

## 2 手洗いの徹底

日ごろからきちんと手を洗うことが感染予防の基本です。

- 特に、食事の前、トイレに行った後、調理の前、おう吐物や便の処理後は、必ず手洗いを行う。
- 共有のタオルは使わず、ペーパータオルや清潔なタオルを使用する。

## 3 健康観察

日ごろから利用者の健康観察と職員の健康状態の確認を行う。

- 特に、発症者とその周囲（同じ居室やユニットの利用者、担当職員等）の健康観察を行う。
- 面会者に対して、下痢・おう吐がある場合、面会の自粛を要請する。また、手洗い徹底について協力要請。

## 4 その他

- 入浴：下痢やおう吐など症状のある人は、**最後に浴槽に入るか、シャワーのみに**しましょう。
- 感染症が発生したとき、またはその疑いがあるときは、保健所にご連絡・ご相談ください。